

(47)宝塚市立病院改革プラン2017の点検・評価結果（令和5年度）

○令和5年度の点検・評価結果

(1)医療機能等に係る数値目標

項目	R5	
	目標	実績
救急車受入件数(件)	5,000	5,816
がん入院患者数(人)	2,700	2,625
手術室手術件数(件)	3,800	3,709
在宅復帰率(%)	97	96
紹介率(%)	71	77
逆紹介率(%)	112	128
平均在院日数(日)	10.3	9.9

(2)経営指標に係る目標

項目	R5	
	目標	実績
経常収支比率(%)	100	97
医業収支比率(%)	93	91
1日当たり延入院患者数(人)	315	273
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	70,000	69,170

(1) 医療機能等に係る数値目標

医療機能等に係る数値目標は、がん入院患者数、手術室手術件数以外は、目標値を達成したものが多く、その中でも救急車受入件数は、コロナ流行前の受入体制に戻したことから目標値を大きく上回りました。また、紹介率、逆紹介率については、ポストコロナの影響もあり、病診連携が活発化したことが要因と考えます。

がん入院患者数は、主に緩和ケア内科の患者数の増加により令和4年度実績を145件上回ったものの、目標を下回りました。

手術室手術件数の減少は、形成外科医が令和4年度の3名から2名に減少したことが要因です。

(2)経営指標に係る目標

経営指標に係る項目は、いずれも目標を下回る結果となりました。医業収支比率ならびに経常収支比率は、入院収益の伸び悩みに加え、給与改定による給与費の増加、高額な抗がん剤の使用等による材料費の増加、電力料金の高騰等による経費の増加が影響し、100を下回りました。

入院収益に係る1日当たり延入院患者数が目標を下回ったのは、看護師不足による1病棟閉鎖が最も大きな要因です。